

(別添資料1)

事業所名

コペルプラス宇都宮駅前教室

支援プログラム

作成日

2026 年

8 月

20 日

法人（事業所）理念		当事業所では、「できないことをできるように」という点にだけ焦点を当てるのではなく、子どもが自ら持っている力を発揮し、将来において社会で活躍する姿をサポートするための支援を目指します。						
支援方針		「できないこと」「苦手なこと」を訓練する視点より、「できること」「得意なこと」を伸ばす視点を重視し、言語やコミュニケーション、社会性、生活支援、認知、運動に関わる多種多様な課題を「楽しい遊び」として取り組めるよう工夫し、提供します。						
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	学童期の土台となる、自身の体調管理や身の回りの自立に向けた支援を行います。単なる反復訓練ではなく、活動の中に「自分で整える楽しさ」を組み込み、主体的な習得を促します。安定した学校生活の基盤となる規則正しい生活リズムの確立に向け、ご家庭の状況に合わせた具体的なケア・アドバイスを継続的に共有させていただきます。						
	運動・感覚	ボディイメージ形成のために、ヨガのポーズに取り組みます。自分の体の動かし方を捉えること、柔軟性を高めることを目的に、無理なく楽しみながら取り組めるよう促します。また、手先の細かい動作を伴う感覚遊びを行い、楽しみながら左右両方の手や体全体をバランスよく使える器用さを育てていきます。						
	認知・行動	思考力や認知を育むために、思考問題や図形課題に取り組みます。自ら学ぶ行動へつなげるため、興味関心を引き出し、意欲的に学ぶ姿勢を育てていきます。楽しみながら取り組むことで、学習を肯定的に捉えられるように導きます。						
	言語コミュニケーション	学校生活において先生や友達と、あるいは地域の中で、円滑なコミュニケーションを築けるよう、テーマに沿って会話を楽しむ課題などを行います。会話ややり取りを、一人ひとりが自分らしく楽しめるように留意します。また、言語活動に必要な言葉や漢字の理解のために、個々の段階に応じた学習プリントに取り組みます。						
	人間関係社会性	子どもの感情を受け止め寄り添うことから信頼関係を築き、将来における円滑な人間関係の構築を目指します。ルールのあるゲームなどに取り組み、場面に応じた適切な行動の成功体験を重ねられるようにします。成長の過程で起こる困った行動には、ABA（応用行動分析）の観点から、環境の改善や対応の見直しを検討し、子どもが自主的に行動を変えられるよう導いていきます。						
家族支援		保護者の支援の見学や参加を原則とし、安心して子育てができるよう支援します。ペアレント・トレーニングを開催し、より深く子どもを理解し子育てが楽しくなることを目指します。			移行支援		通学先との会議などで、積極的に情報共有を行います。児童にとって、移行先が安心できる場所となり、さらなる成長へつながるよう、丁寧な連携を行います。	
地域支援・地域連携		地域支援・連携として、ペアレントトレーニング講座、子育て相談会などの開催を検討します。地域の子ども支援の一助となるよう、積極的に案内や提案を行い、連携に努めます。			職員の質の向上		障害児支援の技法や知識獲得のために、定期的な研修会を開催し、支援スキルの向上へつなげます。虐待研修や感染症研修を通して、福祉サービス職員としての意識向上を目指します。	
主な行事等								